

サカキ産業株式会社

導入事例 TQ-Reporter

月間「作業60時間」「紙1,200枚」削減

現場の帳票を電子化する方法とは？

SDGs宣言をきっかけに、高圧ガス充填ラインのペーパーレス化と業務効率化に着目。トライアルの中で業務運用イメージを掴み、納得の形でサービス利用を決定された、帳票電子化の成功事例をご紹介します。

取材協力

保安部 兼 ISO 担当

富山総合ガスセンター製造課

副センター長 宮林 亮輔 様

(以下、敬称略)

導入事例
完全版を見る



サカキ産業株式会社 様

高圧ガス、医療ガス、ガス関連設備の販売および技術サービスの提供。安心・安全・安定を基礎に、地域社会の健康で快適な暮らし創りに貢献されています。

課題

- ・ 検査表のペーパーレス化
- ・ 手間のかかる手書き記録の効率化
- ・ 過去に記録した情報の探索速度向上

効果

- ・ 検査表電子化で1日約60枚の紙を削減
- ・ 記録作業が1人当たり30分/日削減
- ・ 過去の記録がいつでも検索可能に

ー検討のきっかけを教えてくださいー

2022年10月に、当社がSDGs宣言したことがきっかけです。当社の具体的な取り組みとして、環境負荷低減や働きやすい職場環境づくりに向けた「ペーパーレス化」「業務効率化」があります。

ーどのような課題をお持ちでしたか？ー

当社が取り扱う高圧ガスは6つの製品群があり、製品群ごとにガス充填ラインがあります。各ラインでは大きく分けて3つの検査を行い、検査ごとに3~4種類の検査表を使います。高圧ガス関連の検査表は全部で約60種類。各ラインの担当者が毎日印刷して検査結果を記録し、ファイルを日付順に閉じて書棚に保管していました。ISOで2年保管を定めており、毎日約60枚の紙が蓄

積されることに。書棚はいっぱいになり、保管スペースがなくなっていました。ボンベ出荷後にお客様から問い合わせを受けると、検査工程の記録を確認する必要があり、過去の検査表をペラペラとめくって探すのはすごく大変でしたね。

担当者にとって、作業しながら検査表を書き上げるのが手間だったようで、一旦メモ書きしておいて、あとで清書する者もいました。検査で異常を発見した場合は、Excel台帳への転記も必要。作業終了後の記録作業に毎日約30分かかっていました。

ー採用の決め手を教えてくださいー

契約前に試用でき、運用イメージをつかめたことが決め手です。最初に2種類の検査表をHCSさんに作成してもらい、私が編集したり種類を増やしたりしました。トライアルの中で業務利用できるレベルまで環境構築し、これなら使えそうだと確認できたところで契約しました。



ー工夫・苦労した点を教えてくださいー

HCSさんにも支援してもらい、検査表の

入力支援機能をたくさん組み込むことができました。色んな機能がある中、特に便利だと思ったのがエラーチェック機能ですね。入力した数値が異常値ならメッセージ表示してくれます。他には、作業開始/終了時刻からの時間自動計算なども。

ー効果はいかがですか？ー

紙記入からタブレット入力に変わりましたが、現場も抵抗なく、記録作業がかなり楽になったと言っていますよ。おかげでタイムリーに入力できて、作業終了後の転記作業が不要に。検査結果を全てデータ化・一元管理し、情報検索時にもタブレットを活用。すぐに対象を特定できます。

ー今後、取り組みたいことを教えてくださいー

業務効率化で得られた時間をいかに有効活用するかが今後の課題です。また、製造ライン固定で使用中のタブレットを、今後はお客様先などに持ち出し、設備の保安点検業務にも活用予定です。



サカキ産業株式会社



NEW
MEMBERHCS SOLUTION
FAIR 2024お申し込み
開始!

開催日

2024

6.12
WED.

4月1日、グループ合計30名の社員を新たに迎えました。みな緊張した面持ちでしたが、希望を胸に社会人としての第一歩を踏み出しました。今後は社内研修を通じ、専門技術の習得を目指します。今後の活躍にご期待ください。

第17回
HCSソリューションフェア
2024令和6年(2024年)
6月12日(水)開催

来場・講演申し込み

未来の共創

～AIとあたらしいソリューションで描くビジネス変革～

●基調講演●



舞の海 秀平氏



岸 博幸氏

特設サイトを見る >

お申込み
こちらから

HCSソリューションフェアのお申し込みを開始しました。今年は基調講演に、元力士の「舞の海 秀平氏」、報道・バラエティー番組でも活躍中の「岸 博幸氏」が登壇! 展示ブースでは、「AI・先進技術」「クラウド」「セキュリティ」など、5つのテーマで50以上の課題解決策を準備し、皆さまをお待ちしております。お申し込みは、HCSフェア特設サイトから。弊社HPからもアクセス可能です。

MEX金沢2024 併催

「てっこうきでんDXミーティング」に出展!

開催日

2024

5.17-18
FRI.-SAT.

「てっこうきでんDXミーティング」とは、デジタル化導入を模索するものづくり企業と、IT企業が一堂に会して、情報提供と相談・意見交換をする場です。弊社からは、生産・販売・購買・在庫・原価管理のお悩みをワンストップで解決できる方法をご紹介します!

MEXに申し込む >



※ "image: Freepik.com" イラストの一部は Freepik.com のリソースを使用してデザインされています。

HCSのよがお

営業本部

富山ソリューション営業部

さいとう しほ
齋藤 志帆さん

Q. 業務内容を教えてください。

小売業や製造業などのお客さまからお悩みやご要望をお聞きし、課題解決策をご提案したりしています。

昨年7月に入社。前職では、農業関連団体で営業業務と兼務し、社内システムの入れ替え業務を苦労しながら経験しました。自分の経験から「この作業で

お客さまがつまずきそうだ」「この専門用語はきっと伝わりにくいはず」とお客さまの気持ちに寄り添って説明できるのが、今の私の強みだと思っています。今後は、もっとお客さまに信頼していただき、業務の悩みを打ち明けてもらえるように、スキルアップを目指したいです。

Q. 趣味を教えてください。

趣味はバイクです。私の担当しているお客さまが、富山・石川県のおすすめスポットやお店などをいつも教えてくださいます。宮城県出身の私にとっては、とてもありがたいです。晴れた休日はいつも、お客さまのおすすめ場所にバイクで出かけています。折角富山県に移住したので、誰かにおすすめできるくらい、県内を巡りたいです。



↑ 帆船「海王丸」と共に。@射水市

編集後記

北陸新幹線の金沢-敦賀間が3月16日に開業しました。当日、沿線各駅では式典が行われ、盛り上がりを見せたようです。福井県では、東京に向かう1番列車が県内の延伸区間4駅から発車するたび、地元紙が号外を次々に発行し、ネットでも話題に。ホットする明るいニュースでした。

本号では、使っている紙の様式をそのまま電子化し、現場でシステムへの入力を完結できる「TQ-Reporter」をご紹介します。弊社ではデモはもちろん、トライアルのプラン提案・サポートを無償で実施いたします。ぜひご相談ください。(やまだ)

皆さまのご意見をお聞かせください

より役立つ情報掲載のため、皆さまの「気になる」「知りたい」コト、掲載記事のご感想などをぜひお聞かせください。

『HCS NewsLetter ご意見箱』への投稿はこちら→



全カパートナー

HCS

北陸コンピュータ・サービス株式会社

NewsLetter 編集室

TEL : (076)495-9824 HP : https://www.hcs.co.jp/